

男 女

【1】オープニング

女 これから始まる夢の中で

答えを見つける？

どこかへたどり着く？

それはあなた次第

男 答えは知らない

それはきみの中に

それは夢の中に

答えは知らない

女 ちゃんと生きた？

男 そりゃあ、誓った通り、精一杯。そっちは？

女 うまく踊れなかったけど、やれることはやった

男 生きたねえ

女 死ぬのかねえ

男 まだまだだよ。いつかだね

女 怖くない？

男 ううん。死んでも、肉体が朽ちるだけ。心は誰かの記憶に残るし、心を引き継いでいつてくれるし。まあ、そのためには、一生懸命生きる姿を見せる必要があるけどね。

それが誠意ってものだな

女 そうだね。必死に生きたい。あ、おばあちゃんになっても、

コンテンポラリーダンス踊ってたら、カッコ良くない？

男 それを言うなら、おじいちゃんになっても、ラップしてたら、カッコ良くない？

女 そうだね。先は長いね

男 でも楽しみだな

女 前向き！

男 タイトルについては

女 てんびん

男 とか

女 仮想通貨

男 とかっ

女 意味

男 でも、必要だろうか？

女 タイトルが？

男 何もかもが

女 とりあえず、今のは、なしってことで

男 意味とか正解とか答えとか求めすぎ

女 でも、終わったら、そっと心の中で名前をつけてくれればいいかな

男 それは傲慢だよ

女 むしろ、あなたの方が傲慢じゃないかしら。名前をつけられることを

拒否するんでしょ？ 名前は形にはならないけれど、価値はあるから、気軽にいいから、

名付けてほしいってのが、人の心

男 仕方ないな。名前をつけてやるから精一杯……

男と女（間を取ってから） 生きろ！

【2】第二幕

女 生命。  
男 種、蒔く。  
女 花、咲く。  
男 足跡を残す。  
女 至福。  
男 パステルグリーンの大地。  
女 パステルイエローの太陽。  
男 ん？  
女 何？  
男 産まれた？  
女 産まれた！  
男 成長。  
女 虚無を知らずにただ泣く。  
男 喜びも知らずにただ泣く。  
女 あやしても泣き止まない。  
男 あなたに会えてうれしい。  
女 わたしのもとへやってきてくれて、ありがとう。  
男 生まれた命。  
女 証明なんてする必要はないよ。  
男 ただ生きて。  
女 子どもって無邪気だから、砂場で。  
男 ぐねぐねした川を作って遊んだなあ。  
女 忘れたなあ、あの頃の間。  
男 砂が爪の間に入るあの感じ。  
女 時間を忘れてこの指止まれた  
男 夕暮れの午後五時。  
女 汚れた指先を太陽に向かって  
男 差したりすることもあったさあ。  
女 まぶしいのに。  
男 背中に羽をはやして、  
女 飛んでいきたいなあって思ったの、  
男 覚えてる？  
女 一がシルバー？ 地の色が銀色  
男 ダンスにも台本あるんだね、きみの場合

女 音が強いとそっちに引っ張られるけど  
男 音楽や言葉から体動いたりするの？  
女 それはある。だからあまり強烈な言葉は避けて  
男 抽象的すぎるとか言われない？  
女 二はきいろとかグリーン。自分でも感覚的だとは思ってる。悪い？  
男 別に責めてないし、ひとそれぞれだし  
女 きいろって言うか、パステルイエロー  
男 光の反射がやわらかい感じだね  
女 あとはパステルグリーン。このふたつの色が、なんていうんだろう、混ざり合う部分もあるんだけど、それぞれが単体で生きてる  
男 わかりづらい  
女 余白はない。重なったり、重なってなかったり  
男 むーん  
女 三はわかりやすい。赤と黒のドット  
男 なんてとかとは訊かない方がいいみたいだな  
女 四は肌色、うーん、肌色は違うかな。茶色は近いかな。  
男 多分、肌色っぽい色と茶色が混ざった色  
女 オープニングとエンディングには色ないのね  
男 ないけど、最後にどんよりしないように  
女 ハッピーに終わらせる的な？  
女 どよーんってなるんじゃない？『終わった、さあ、帰ろう！』って清々しくなるような  
男 あと、△答えは明示しない△でいいかな？  
女 お客様の感性とこちら側の感性が混ざると面白いよね。  
感性のミックスっていうの？それとわたし、  
昔はコンテンポラリーダンスとか疲れる〜とか思ってたから、  
そうはしたくなくて、言葉や音楽を取り入れて、  
ヒントになる様な事柄を置いておきたい。  
暗黒舞踏とクラシックバレエの間にあるのが、  
コンテンポラリーダンス  
男 何言ってるの？ 全然わかんない  
女 わたしはさ、言語化できない女だから察してよね。  
それに答えがないことの方が多いんだよ  
男 結局見えないじゃん、仮想通貨って。信用ならない。  
女 クレジットカードも電子マネーもあり得ない。  
男 圧倒的に現金主義だよ  
女 Yさんは、そう言うと、だるそうに白ワインを。

男 彼女の部屋にいる。

女 女性らしくないオタクな風景。

男 四方の壁に本やCDやレコードが

女 押し込まれて、地震が来たら死んじゃうかなって。

男 でも、今ここで一緒に死ねたら、素敵かもって。

女 もうお金を払ってYさんに会うことはない。

男 仮想の恋人から脱却。現実世界で恋人っていう。

女 クリスマスにはサプライズなプレゼントを。

男 ぼくがサンタクロースだったら

女 どんなに良かったかなあ。

男 恋なんて記号で、仮想通貨よりも儂いから

女 命かける価値があるってもんだよ。

男 飲めないお酒を飲んで、気持ちが悪い。

女 好きな人が酔っ払っている姿は、そう、美しい。

男 感性をてんびんにかけるなんて、

女 全然わかってない。とNくんは少し怒って。

男 赤ワインをマグカップになみなみと注ぐから

女 随分酔っ払っているらしい。

男 でも、言ってることは間違っていない。

女 テレビで記号化されたJ・POPが流れている。

男 少しときめくわたしも酔っ払っている？

女 正解なんてないよね。お金儲けの芸術なんて

男 嫌いだけれど、消えてしまえとは思わないよな。

女 だってアイドルに命救われる人、

男 たくさんいるだろうし

女 わたしは自分が二番目の女だってことはわかっている。

男 一番目の人とてんびんにかけるまでもないくらい

女 貧弱なわたしの器量、才能。

男 美のセンスの欠片もなくて、化粧がヘタだ。

女 今のきみが好きだ

男 なんって言われても、あなたもわたしのてんびんに

女 どうにかされることすらないんだよ。

男 YとNは名前を持っていない。

女 感覚としてそれがあるだけ。

男 でも、それで十分じゃあないか。

女 「ねえ」とか「おい」とか必要に応じて呼べば。

男 散々言い尽くされたことだけど、  
女 名前なんて記号なんだから、とYかNが。  
男 すると。でも、名前、言い間違えられると  
女 なんともせつないよね、とYかNが。  
男 「腹立たしい」ってついでに。  
女 間もなくふたりの子どもが生誕。  
男 YとNの子どもか。  
女 子どものYとNか。  
男 股ぐらから芽吹く感覚。  
女 ライブで熱狂する歓声が聞こえる。  
男 祝祭が待ち構えてる。  
女 YもNも名前を拒否。  
男 理由？ 感覚的に！  
女 だから誰でもない彼／彼女になって生きてく。

【3】エンディング

女 わからなければ、みんな芸術なのかしら？

男 だったら、恋愛も、人生も、全部、芸術だね。

女 日々の暮らしについても、わからないことばかり。

男 答えを出すための生活？

女 まだまだ勉強不足だって八〇歳の祖父が。

男 わたしは芸術じゃなくていいから、

女 ほどほどにみんなから愛されたいの。

男 愛されるためのレシビはないよね。

女 知ってたけど、ちよつと絶望。

男 芸術には答えがないって何度も。

女 暮らしも生活にも、正解なんてなくて

男 多分、幸せな人って、それを肯定できる人。

女 これがぼくの正解だって顔で笑えたらいいな。

男 これから本番だって八〇歳の祖母が。

女 だったら、ぼくの先はまだまだ長いな。

男 楽しいことが待ってる、

女 幸せな日々が待ち構えてる。

男 知ってるけど、すつごく希望。

女 これから始まる夢の中で

男 答えを見つける？

女 どこかへたどり着く？

男 それはあなた次第

男 答えは知らない

女 それはきみの中に

男 答えは夢の中に

女 夢から覚めた、さあ現実だ

男 答えなんかないし、たどり着きもしない

女 それぞれが人生を生きる道をがんばって

男 多分、魂は生き続けるから

女 悲しくないよ

男 まぶしい光が射してる

男 あれが今だよ

女 あれはへまだゞだよ  
満たされることを望んで生きてる  
血が流れてる  
男 「また明日！」って昨日が叫んでる  
女 あなたは何を叫ぶ？  
男 叫ぶ声が光に溶けていくのを  
聞くのはどんな感じ？  
女 また会おうね  
男 また遊ぼうね  
女 いつもの場所で待ってる

テキスト なかがわよしの  
構成 くろいわりきや